

作目名	質問	回答	参考情報
カキ	園地が浸水した場合どのような影響が考えられますか。	カキは、耐水性の強い果樹に分類されていますが、湛水状態が続くと根腐れになり落葉や落果が発生します。また、落果しなかった果実もヘタスキ果になりやすくなります。浸水した園および排水不良地（地下水位が高まった園地）では、早急に排水して根腐れを防止する必要があります。	
	園地に土砂が流入して埋まっていますが、どうしたら良いですか。	樹種共通の回答を参照してください。	
	湿害や枝折れの被害を受けた樹体は、どのように管理するのが良いのでしょうか。	湿害の大きい樹は、摘果により着果数を減らして樹勢回復を図る必要があります。枝折れした場合はの管理については、樹種共通の回答を参照してください。	
	どのような病気の被害が心配されますか？	7月上旬はカキ炭疽病、落葉病の防除時期にあたります。特に落葉病は、適切な防除が必要であり、8月以降に防除を行っても有効性は低く、多発は免れない可能性があります。多発した場合は、冬期に落葉処理を徹底して、翌年の伝染源を減らす必要があります。 炭そ病は、今後8月下旬から9月中下旬の重点防除時期に丁寧な防除が必要です。発病果は落果したものを含め地中深く埋めて下さい。	
	殺虫剤を散布できない場合、どのような害虫の被害が心配されますか。	カキで殺虫剤が散布できない場合、カメムシ類の被害が発生する恐れがあります。特に多発時には防除を行わないと大きな被害になる可能性があります。また、8月初めはカキノヘタムシガの防除時期です。これまでの防除により密度が低い場合、今年度の防除を省いても大きな被害にならない場合もあります。ただし、今年防除できなかった場合、カキノヘタムシガの密度が高くなると予測されるので、次年度以降はしっかりと防除を行う必要があります。	
	摘果などの管理ができない場合どのような影響がありますか。	摘果不足となった場合、果実の小玉化などにつながり、商品化率が低下します。葉のい凋、葉色の低下、落葉が激しい樹の場合、摘果できないと樹勢低下を招きます。	
	樹勢低下がある場合に対処する方法がありますか。	樹種共通の回答を参照してください。	